

(12) 雇用している障がい者の勤務年数

問 15 雇用している障がい者の勤務年数について、障がい等の種類別に該当の欄に人数をお答えください。

平成 29 年 6 月 1 日時点で雇用している障がい者の勤務年数について、在職者数ベースでみたところ、視覚障がいでは、「10 年以上」が 43.8%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 19.6%となっている。聴覚・言語障がい等では、「10 年以上」が 56.2%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 15.5%となっている。肢体不自由では、「10 年以上」が 46.3%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 19.0%となっている。内部障がいでは、「10 年以上」が 48.2%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 18.7%となっている。

一方、知的障がいでは、同様に「10 年以上」が 26.2%と最も高いが、次いで「1 年～3 年未満」が 22.5%となっている。また、精神障がいでは、「1 年～3 年未満」が 30.0%と最も高く、次いで「10 年以上」が 18.1%となっている。

これら障がいの在職者数の計では、「10 年以上」が 39.5%と最も高く、次いで「5 年～10 年未満」が 18.5%、「1 年～3 年未満」が 17.6%となっている。

なお、その他の障がい等では、「10 年以上」が 35.0%と最も高く、次いで「1 年～3 年未満」が 26.3%となっている。

